



あすわ

「生きる」に、伴走し続ける。

社会福祉法人 足羽福祉会

愛のささえ ai no sasae

足羽東こども園

■ボランティア・交流・訪問
後藤唯花／株式会社島崎農園／
株式会社マメタ／上文殊総合開
発委員会／竹内颯汰／後藤唯花
／工藤洋子／上文殊公民館／文
珠苑／上文殊駐在所／上文殊小
学校／上文殊地区の皆様／福井
南警察署／福井南消防署
■研修・実習・見学
仁愛大学

足羽学園・ 足羽更生園

■寄付・寄贈
カナカン(株)／パナソニックデバ
イス労働組合／日本出版販売
(株)／日本児童図書出版協会／
福山公基
■ボランティア・交流・訪問
宮浦知恵子／村尾恵子／若越ひ
かりの村／悠YUハーモニカ同好会
■研修・実習・見学
中村あやな／後藤正邦／藤本か
ずき／希望園／日本福祉大学／
日本こども福祉専門学校／のぞ
みの園

フレンズあすわ

■ボランティア・交流・訪問
よつばこども園
■研修・実習・見学
福井美容ビューティー製菓保育
専門学校

フレンズどれみ

■寄付・寄贈
酒井悠香
■ボランティア・交流・訪問
Bメイト／えつばjr.
■研修・実習・見学 なし

足羽ワークセンター

■研修・実習・見学
嶺北特別支援学校

スマイル

■研修・実習・見学
嶺北特別支援学校／南特別支
援学校／轟産業／福井市福祉
政策課／就業見学者／福井高
校川端／ベース福井木村／中
村隆清／安川大作

カラフル

■寄付・寄贈
石塚勇
■見学・実習
嶺北特別支援学校
■ボランティア・交流
斉門豊／オートハープ演奏会わ
くわくいきき倶楽部北川誠一
／東藤島公民館

足羽サポートセンター

■研修・実習・見学
嶺北特別支援学校

パステル

■研修・実習・見学
福井工業大学学生／福井県嶺北
特別支援学校／福井県立福井東
特別支援学校／福井県立福井南
特別支援学校／福井県立清水特
別支援学校
■ボランティア・交流・訪問
砂連尾理／みんなで舞台上にと
うを広げる会

あすわ第1・2・3

■ボランティア・交流・訪問
南四ノ居町自治会
■研修・実習・見学
知的障がい者の保護者会 結の会

愛全園

■ボランティア・交流・訪問
ダンディ合唱団／大東中学校吹
奏楽部
■研修・実習・見学
大野和光園

足羽利生苑

■研修・実習・見学
青池学園／小島海都／野嶋理恵
／松山千種／山崎哲宏／中西一
彰／福井市医師会看護専門学校
／木村舞桜／岩佐沙也加
■ボランティア・交流・訪問
米岡春幸／前川明信／高村ふさ
子／錠詰幸恵／野坂幸江／岡保
大正琴クラブ／日っ出門座

グループホーム美山

■寄付・寄贈
前田一枝／木ノ内千数恵／小嵐
敏子
■研修・実習・見学
奥越明成高等学校
■ボランティア・交流・訪問
家接忠／家接加津代／山崎よし子

令和7年12月1日から令和8年5月31日までの方々を掲載させていただきました。

編集後記

最近、月うさぎの里というところに行ってきました。う
さぎに餌をあげたり、頭を撫でたりして、とても癒され
ました…。ちなみに、ちいかわのうさぎも大好きです！

鈴木(更)

先月フェスに行って久しぶりに日焼けしてきました。
夏が近づいて来たな～と感じます。自事業所の夏
休み、今年も頑張ります！！

藤嶋(アあ)

最近プライベートで町内に写ルンですを100台ほど
配ることになり、エモい夏になることが確定して嬉
しいです。

丹代(本)

先日先輩職員といちごのアフタヌーンティーに行きました。
とてもおしゃれでおいしかったのですが、生クリームの甘さ
にやられました。甘いもの好きでも限度がありました…。こ
の夏もおいしい物を食べ、暑さに負けず過ごしたいです！

岩本(フと)

私事ではありますが、今年5月にて結婚をいたしました。
家族・友人・職場の仲間・地域の方達にたくさん祝っ
ていただき本当に感謝しているのと同時に、自分が出来る
事を精一杯行い、少しでも恩返しできたらと思います。

山崎(美)

最近足羽で美味しいご飯屋さんに行くのにハ
マってます。美味しいものを食べて、リフレッシュし
てます！

伊江(更)

子ども福祉部門

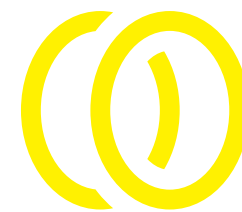
美山児童クラブ
上文殊児童クラブ
足羽東こども園
足羽学園
子ども発達支援センター
フレンズあすわ
フレンズみゆき
フレンズどれみ

障がい者福祉部門

足羽ワークセンター
足羽サポートセンター
パステル
スマイル
カラフル
あすわ相談支援事業所リアン
足羽更生園
あすわ第1／あすわ第2／あすわ第3

高齢者福祉部門

愛全園
足羽利生苑
グループホーム美山
福井大東包括支援センター
(ほやねっと大東)



あすわ

「生きる」に、伴走し続ける。

社会福祉法人 足羽福祉会

法人本部／福井県福井市梅野町20-7
TEL.0776-41-3108

www.asuwafukushikai.jp

愛道 第148号 令和8年7月1日発行 発行所／社会福祉法人 足羽福祉会 発行責任者／高村昌裕



コーポレートサイト



Instagram



新卒&キャリアの

就業体験募集中

足羽福祉会には、**3**つの体験コースがございます！

1時間コース

館内見学、サービス案内を通じて
事業所の全体像を知ることができます。

3時間コース

1時間コースの内容に加えて、
特定の部署で2時間の就業体験を行い、
仕事内容について理解を深めます。

7時間コース

3時間コースの就業体験をさらに
長くしたコースです。全体の1日の流れを
知りたい方におすすめです！

↓ 体験可能事業所は新卒・キャリアで異なりますので、以下をご覧ください。 ↓

新卒採用

- ▶ 高齢者福祉部門：愛全園／足羽利生苑／グループホーム美山
- ▶ 障がい者福祉部門：足羽更生園／パステル／
足羽サポートセンター／あすわ第3
- ▶ 子ども福祉部門：足羽東こども園／フレンズあすわ／足羽学園

キャリア採用

- ▶ 採用サイトに記載の求人事業所にて受け付けております。

WEBサイト

VR空間で事業所の様子を
みることができます！



就業体験までの流れ

※基本的には希望日に合わせてスケジュールさせていただきます。

STEP 1 ▶ 法人から今後の流れについて連絡



STEP 2 ▶ 希望事業所、希望日のすり合わせ、確定



STEP 3 ▶ 当日詳細の共有

お問い合わせ

※事業所の職員調整をさせていただく関係で体験希望日の
1週間前までにはご連絡いただけますと幸いです。

社会福祉法人足羽福祉会
法人本部事務局 採用担当宛

TEL:0776-41-3108
mail:recruit@asuwafukushikai.jp

職員への質問コーナー Vol.10

VOICE ASUWA FUKUSHI KAI

利用者様と
他愛もない会話が
できる場所



グループホーム美山
やまざきさん

自分が仕事をしていておもしろいと感じるところ
は、利用者様と他愛もない会話ができて場所です。
介護と聞くと「介助が大変そう」という声が多く聞か
れますが、介助中にも最近のニュースの話や家での
出来事、嬉しかったこと・嫌だったことなどいろん
な話をしながら行うことで、自分も会話を楽しみなが
ら仕事が出来ますし、自分の知らない知識が増えたり、
見識が広がったりするので自分の成長にもつな
がり、とても面白いと思います。

どんなところ？

仕事の「おもしろい」ところは



利用者様が笑っている
可愛い姿を見ると
笑顔になっている自分がある。

足羽学園
わかもりさん

仕事で落ち込んだり疲れたりすることがあっても、
利用者様が笑っている可愛い姿を見ると、そん
なことも忘れて、いつの間にかつられて笑顔になっ
ている自分があります。また、とても人間関係が良い
職場で、同僚の職員さんたちと話す時間からも、い
つも元気をもらっています。利用者様にも職員の皆
さまにも助けられているなど、日々感じています。こ
れがこの仕事の一番の魅力であり、面白いところで
すかね(笑)

愛道 aidou

Vol.148
令和8年7月1日発行

COVER PHOTO

障がい者支援施設「足羽更生園」で
の昼食後の一コマ。何気ない余暇活
動の中に楽しさがあふれ、日常が笑顔で
あふれています。



CONTENTS

- 01 職員質問コーナー／目次
- 03 特集① 介護って何するん？
～大変そう!からおもしろそう!へ～
- 05 足羽福祉会インフォメーション
各施設からの最新情報
- 07 特集② 日々精一杯
～世の中の「ふつう」と、どう向き合うかを考える～
- 09 母乳バンクの啓発活動を通じた探究と学び
～福井南高校に突撃インタビュー～

介護って何するん？

大変そう！からおもしろそう！へ

「介護＝大変そう」というイメージはありませんか？たしかに、身体的なサポートは多くあります。でも、介護の仕事には、単純な「お世話」では語れない専門性と、深いやりがいがあります。今回は、外出支援の現場をのぞきながら、介護のリアルをお伝えします。

食事・嚥下への配慮

外食の場では、食べ慣れない料理や環境の変化・気分の高揚により、誤嚥リスクが通常より高まります。ご利用者一人ひとりの嚥下状態に合わせた食事形態を選択し、食事のペースと咀嚼の様子を観察しながら支援しています。



トイレ誘導・体調管理

外出先では、トイレの場所が分かりにくく移動距離も伸びます。失禁や転倒を防ぐため、定期的に声をかけ、タイミングを見ながら早めの誘導を実施。気温差や疲労による体調変化にも目を配りながら、緊急時の連絡体制も事前に整えています。

転倒リスクへの対応

屋外は段差・傾斜・路面変化が多く、施設内より転倒リスクが格段に上がります。一人ひとりの歩行ペースや体調に合わせた介助を行い、必要に応じて手引き歩行や車椅子に切り替えます。「今この人は疲れていないか」を常に観察しながら動いています。



外出支援は、「ただの付き添い」ではありません。施設の外に出る瞬間から、職員は複数の専門的な判断を同時に行っています。

専門的な関わり

外出支援における

「また連れてって」の言葉が、次のエネルギーになる。

利用者様が楽しそうにしている姿を見るとき、「やってよかった」と感じます。外出や調理レクは、職員も一緒に楽しめる時間です。たとえば、今まで劇団の公演にまったく関心なかったのに、利用者様と一緒にOSKを観たことで、劇のおもしろさに初めて気づきました。花見外出では、事前準備が少し足りなかった面もありましたが、利用者様から「楽しかった」「また連れてってほしい」という声をいただきました。準備の反省と、喜んでいただけた感謝と——それが次への意欲につながっています。



見守りと役割分担

慣れない場所では、利用者様が突然その場を離れてしまうことがあります。それを防ぐため、職員はあらかじめ担当を決め、自分の担当者の位置・様子を常に把握。複数職員がチームで安全管理を行っています。



POINT

介護の専門性は、「何かをしてあげる」ことだけではありません。利用者様一人ひとりの状態を読み、安全と安心を同時に守りながら、その人らしい時間をつくる。それが、介護の仕事のリアルです。

自分で選んだ候補者にしっかり投票できました！

この春、高等部を卒業し足羽学園を巣立つ利用者様が、18歳の節目に選挙権を取得。福井県知事選挙・福井県議会補欠選挙の期日前投票に挑戦しました。事前学習で候補者の政策や投票の流れ・マナーをしっかり確認し、準備万端で投票所へ。緊張しながらも、自分で選んだ候補者をしっかりと記入。投票所を出た後の表情は、達成感と清々しい自信に満ちていました。その瞬間に立ち会えたことを、職員一同誇りに感じています。



足羽福祉会は、赤ちゃんからお年寄りまで、障がいの有無に関わらず「共に生きる」を目指しており、利用者様や職員をはじめ、地域への貢献も大切にしています。



施設ブログはこちらから

今年もおもち目当てに、
たくさんの方が大集合！

GMをはじめスタッフ一同が皆さまのために奮闘し、利用者様も一緒にお手伝いしてくださいました。みんなで力を合わせてついたお餅は格別のおいしさ。参加者全員でいただき、笑顔あふれる楽しいひとときとなりました。ごちそうさまでした！



日帰り旅行を実施しました！

新幹線に乗って長野県へ出発。新幹線好きの利用者様が多く、車窓から流れる景色を楽しみました。長野に着いてからは、シャトレゼホテルのバイキングへ。おいしいケーキを何個もおかわりする方も（笑）。その後、善光寺を参拝。急な階段を上った先には、紅葉が美しい絶景が広がっていました。お土産を手に、笑顔で帰路へ。みんなの笑顔がいっぱいの旅行となりました♪

家族イベント
「プチ運動会」を開催しました！

お兄さんお姉さんチームと年下チームに分かれ、「段ボール積み」「動く玉入れ」「サーキット」の3競技で盛り上がりました。その後はミニパフェ作りをご家族一緒に楽しみ、最後は子どもたちからお父さん・お母さんへメダルのプレゼント。恒例の保護者サロンも実施し、保護者様同士の交流の場となりました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

今年度も各地区で地域の健康課題に
合わせた介護予防教室を開催しています。

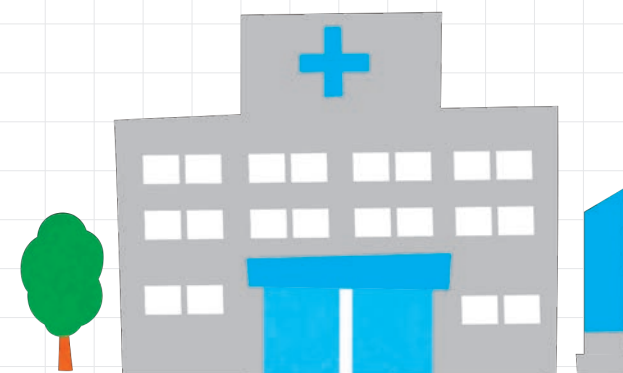
啓蒙地区では「認知症を知ろう」をテーマに、特にMCI（認知症になる前の段階）について学びました。東藤島地区では昨年度に引き続き、高血圧予防・減塩に関する栄養教室を実施。岡保地区では毎年恒例の歩行解析を行い、例年データとの比較に一喜一憂の声も上がりました。「うちの地区でもこんな教室を！」というご要望があれば、ぜひお気軽にご連絡ください。



日々精一杯

世の中の「ふつう」と、
どう向き合うかを考える

「病院で大声を出す」「急に走り出す」——
もしそんな場面を見かけたら、どう感じますか？
それは、障がいのある方が「ふつう」の社会の中で、
精一杯向き合っている姿かもしれません。
今回は、病院を舞台に、障がいのある方が
日々の生活の中で感じていることを、
一緒に考えてみます。



01 待合室・廊下

音と人混みが「痛い」ほどつらい

聴覚過敏のある方にとって、病院の待合室は想像以上に過酷な環境です。話し声、呼び出し音、ドアの開閉音——それらが重なって、耳に「痛み」のように感じられることもあります。イヤーマフの使用は、その方なりの「自衛手段」です。



02 受付・待合室

「なぜ待つのか」が分からない

病院では多くの場合、受付後にしばらく待つ時間があります。しかし、「なぜ待っているのか」「あとどれくらい待てばいいのか」が見通せないと、強い不安につながります。待ち続けることができず、動き回ったりパニックになってしまうのは、「マナーが悪い」のではなく、見通しが持てないことへの反応です。



03 廊下・移動

危険の判識が難しい

危険な場所や行為の判断が難しい方は、走ってはいけない廊下でも、状況によって急に走り出してしまうことがあります。「危ない」という概念の理解には、想像力と経験の積み重ねが必要で、それが難しい方もいます。



04 診察室・順番待ち

ルーティンの変化が不安を呼ぶ

「いつもと同じ流れ」は、見通しの持ちにくい方にとって大きな安心の源です。診察の順番が変わる、待ち時間が延びる——。こうした「突然の変化」が、強い不安やパニックのきっかけになることがあります。



05

検査室・静かな場所

環境のあらゆる要素がきっかけになる

気温・音・光・においなど、生活環境のあらゆる変化がパニックのきっかけになる場合があります。検査機器の音、静かな廊下での発声——「空気が読めない」のではなく、感覚や理解の仕組みが異なるのです。



「知らない」から「怖い」になる。
「知っている」から「支えられる」になる。
障がいのある方が日々感じている
ことを少しでも知ることが、
共に生きる社会への第一歩です。



夏目先生

FUKUI MINAMI HIGH SCHOOL INTERVIEW

「振り返り」から
得られる学び

活動を通して、
生徒にはどんな
変化がありますか。

夏目先生…啓発が目的で
イベントに参加する際は、
活動後に必ず振り返りを

夏目先生…本校の校舎増築の際に
自動販売機を増やすことになり、
学校に寄付型の自動販売機が設置
されたことがきっかけで私たちの
探究活動ははじまりました。実は
この自動販売機は日本で2例目の
導入だったそうです。ピンク色の自
動販売機で生徒も興味を持ちまし
たが、「母乳バンク」「ドナーミル
ク」ってなに？と調べるところから
のスタートでした。本校の探究は2
年生と3年生が一緒に活動してい
ます。教員が教えるのではなく、
先輩から後輩にまず知識を伝承し
ていくのも、夏目ゼミの探究活動
の特徴です。

「知らなかった」から
始まった探究

母乳バンクの啓発活動は
どのように始まったのですか

行い、活動後の気づきなどを生徒
と共有する時間を大切にしていま
す。その積み重ねで生徒が自発的
に気づくことが増え、自然とPD
CAが回るようになっています。その
一例として、啓発をする上で、マ
ナーやコミュニケーションも大切だ
と気づき、自ら挨拶や御礼を意識
できるようになりました。試行錯
誤の日々ですが、探究活動を通し
て生徒の成長を実感できることも
多くあります。今後も関係者の皆
さまに生徒の探究活動を支えてい
ただきながら、取り組んでいきたく
と考えています。

母乳バンクやドナーミルクのことが
詳しく掲載されているホームページ
はこちらのQRコードからご覧く
ださい。

母乳バンクや
ドナーミルクの
詳細はこちら



この自販機から、
支援の輪を
広げたいです！



ゼミ生の皆さま

FUKUI MINAMI HIGH SCHOOL INTERVIEW

啓発活動の難しさと
大切なこと

活動の中で難しいと
感じることはありますか。

A…ドナーミルクにはまだ偏見が
あると思います。「母乳」という言
葉が出るだけで話づらいと感じる
人もいます。啓発活動をしている
と、「自分には関係ない」と言われ
ることもあって、伝え方の難しさ
を感じています。しかし、病院見
学をしたり、小さく生まれた赤ちゃん
を育てているお母さんとお話す

外部との交流で
得たこと

外部の方との交流も
あったそうですね。

A…障害福祉の活動をSNSで発信
している企業と交流しました。私た
ちもこれからSNSで活動を発信し
たいと思っていたので、情報発信の方
法について学ぶ機会になりました。
A…台湾の高校生と交流しました。
言葉はあまり通じませんでしたが、
簡単な英語と身振り手振りで一生懸
命伝えました。中国語の簡単なバン
フレットも臨時で作って持っていきま
した。伝えようとする気持ちが大事
だと感じました。

新しい啓発のアイデア

これからやってみたい
啓発の方法はありますか。

A…SNSでの発信に挑戦したいで
す。いきなり「母乳バンクを知って
いますか」と発信するのではなく、
「ゼミの一日」みたいな「log形式」
で活動を紹介してみたいと思ってい
ます。
A…オリジナルキャラクターのグッズ
とかノベルティーを作りたいです。体
験できるアイテムがあると、啓発の
最初の掴みが自然になるかなと思
います。

FUKUI MINAMI HIGH SCHOOL

母乳バンクの 啓発活動を通じた 探究と学び

福井南高校では、主体的な学びの実践としてゼミ形式を取り入れ、
生徒個々の関心に沿って探究活動を実施しています。
その中でも今回は「啓発」をテーマとする夏目ゼミを密着取材し
担当教諭の夏目先生とゼミ生の皆さまにお話を伺いました。

夏目先生とゼミ生の皆さまに聞きました。

夏目先生

フジシマさん

伊ワモトさん



ゼミ生の皆さま

THEME 【啓発】

ると、ドナーミルクの必要性を改
めて実感します。その気持ちを忘
れずに啓発したいです。

啓発において
大切にしていることは？

A…看護師さんから「ドナーミルク
の必要性が分からない」と言われた
こともあります。でも、たとえ一人
や二人であっても、必要としている
子がいるかもしれない。多くの人に
必要とされないからといって、見過
ごしてはいけないと思っています。
大人数のニーズはどうしても目に入
りやすいけれど、声を上げられずに
いる少数の人たちのことを、ちゃん
と考えることが大切だと思います。